

栃木県 日中友好協会 会報誌

知己

第6号

発行: 栃木県日中友好協会青年部
河内郡上三川町大字
ゆうきが丘12-6
0285-52-1588

第7回 中国語スピーチコンテスト栃木県大会 開催

中国語学習者による成果発表の場「第7回中国語スピーチコンテスト栃木県大会」が、10月25日、栃木県宇都宮市にあるとちぎ国際交流センター（TIA）で開催された。高校生から一般まで幅広い世代が参加し、会場は中国語学習への高い関心と熱意に包まれた。

本大会は、栃木県内における中国語学習の普及と質の向上、学習者同士の交流を目的に毎年行われている。今回は朗読部門とスピーチ部門が設けられ、参加者は日頃の学習成果を堂々と披露した。



スピーチコンテスト栃木県大会への出場が今回で2回目となる苦米地美空さん（宇都宮大学国際学部4年）は、「前回よりも参加者が増え、中国文化や中国語学習への関心の高まりを感じました。高校生や社会人のスピーチを聞き、中国語の勉強により一層力を入れたいという意欲が高まりました」と大会を振り返った。

スピーチ部門では、辻航平さんが最優秀賞に輝いた。辻さんは、「中国語学習の仲間からの紹介で、今回初めて出場しました。大会に向けて原稿を作成し、音読練習を重ねてきました。中国語学習を通じて多くの方と交流できたことをとても嬉しく思います」と喜びを語った。辻さんは、来年1月11日に開催される全国大会への出場が決まっている。

朗読部門参加者の田村祐子さんは、「高校1年生が学習を始めて間もない中で朗読に挑戦している姿に驚きました。ぜひ学習を続けてほしいです。一般参加者のスピーチからは、中国とのさまざまな関わりが伝わってきました」と感想を述べ、「中国語学習者の方には、ぜひ全国大会を見学することをおすすめします。とても参考になります」と語った。

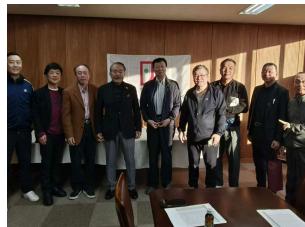
また、高校生参加者の石井勇輝さんは、「中国語は発音が難しいですが、中国のアプリ『出口成章』を使って音読練習をしています。発音が少しずつ良くなり、中国語の動画を見ることで日本語との違いも学べました。これからも楽しく勉強を続けたいです」と前向きな意欲を示した。

世代や経験を超え、中国語で思いを伝える力が集結した本大会。学習者同士が刺激を受け合い、次のステップへとつながる貴重な一日となった。



協会活動報告

第2回栃木日中ゴルフ交流会（11/11）



日中両国の参加者が、ゴルフを通じて親交を深め、友情溢れる和やかな大会となりました。遠方から多くの方々にご参加いただき、国際親善に貢献する意義深いイベントとなりました。



男子の部の優勝者は樊延海さん（埼玉県より参加）、女子の部の優勝者は張恵君さん（中国・天津より来日）に輝きました。張さん「このような交流試合が継続的に開催され、私たちの友情が永遠に続くことを願っております」。

年末の集い 忘年会・講演会（12/6）



実り多い一年を振り返り、日中友好の繁栄と会員相互の交流を深める会となりました。佐藤副会長による素晴らしい歌の披露もあり、「星影のフルツ」を全員で合唱。更なる盛り上がりを見せました！

白石会長が講演『たどり着いたらメーリアン!』



白石会長による講演「たどり着いたらメーリアン」～蝶と博物書を追い求めて半世紀～ 会長が長年探求してきた蝶と博物書にまつわる豊かな知見と半世紀にわたる情熱が語られ、参加者は深い感銘を受けました。



こちらは栃木日中友好協会新設サイトのQRコードです。「知己」に載せきれない詳細な情報はこちらからご覧ください。お問い合わせや掲載依頼も隨時受け付けております！

共生～胡婧盈 洋画展～廣澤美術館で開催



共生～胡婧盈 洋画展～

令和7年11月6日(木)～11月30日(日)

入館無料

廣澤美術館

HIROSAWA Museum of Art

TEL-FAX 0286-45-6228

お問い合わせの際、カーナビの登録名

TEL029-620-1111(受付時間)とご入力ください。

動物と人間、自然と生命の関係を深く描いた洋画展が11月6日から30日まで、茨城県筑西市にある廣澤美術館(芸術の森交流会館)で開催された。作品は静けさの中に張り詰めた緊張感が漂うのが特徴。本展では、野生動物などをモチーフに生命の重さや「生きる」という根源的なテーマを、重厚かつ幻想的な色彩で描き出している。鑑賞者は、動物たちのまなざしを通して、人間中心の価値観や自然との関係性について改めて考えさせられる。

↑胡さんの個展情報

●胡婧盈 (Hu JingYing) さんプロフィール

中国・黒竜江省生まれ。宇都宮文星短期大学を卒業後、文星芸術大学に編入し同大学を卒業。同大学院芸術研究科美術専攻（博士前期課程）修了。

在学中より制作・発表を重ね、栃木県芸術祭美術展にて奨励賞を受賞。光風会展では光風賞を受賞し、日展にも初入選するなど評価を高める。

個展・二人展・グループ展を栃木県内外で多数開催。アーティスト・イン・レジデンス事業にも参加。



世界観に引き込まれる

あとがきを添えて

世間の波が大きく動く中にあっても、日中友好活動が変わらず精力的に続けられていることを、心から喜ばしく思っております。さまざまな状況や課題がある中でも、人と人との交流を大切にし、相互理解を深める取り組みが継続されていることに、大きな意義を感じています。今後も発信や具体的な活動を通して、日本と中国を結ぶ役割を微力ながらも担い続け、両国の友好関係の発展に少しでも貢献していく幸いです。(青年部：加藤かれん)

栃木県日中友好協会事務局 連絡先

FAX : 0285-52-1588

E-mail : tochiginichu.jimukyoku@gmail.com

浙江の知己より

浙江に住む人、学ぶ人、働く人。
我らが知己たちは中国で様々に活躍しています。
彼らの語る中国を聞いて、現地に想いを馳せましょう。

私が生まれ育った場所

金華市は中国浙江省中部に位置する、歴史と現代が調和した魅力的な都市です。豊かな文化遺産と美しい自然景観に恵まれ、観光地としても人気があります。四季折々の魅力にあふれる金華市へ、ぜひお越しください！

金華市

(文：吳詩琪)

【金華城区】

【金華城】 金華の中心地として、古くから栄えてきた歴史ある街です。宋代から続く古い街並みが残る「婺州古城」や、市内を流れる武義江の美しい夜景が印象的です。特産品の「金華ハム」は400年以上の歴史を持つ伝統食品で、日本でも人気があります。また、中国十大名茶の一つ「金華茶」の産地としても知られています。



大学生活を送る杭州市

都市です。現代的な一面では、アリババグルーブ本社をはじめとする「企業が集まる「中国のシリコンバレー」として発展しています。キャッシュレス決済やスマートシティ技術が日常生活に深く根付き、未来を感じさせる街並みが広がっています。歴史的な一面では、世界遺産西湖を中心に、宋代の風情を再現した「宋城」テーマパークが人気です。園内では漢服を着た人々が行き交い、伝統的なパフォーマンスや市が楽しめます。特に夜のライトアップは幻想的で、まるでタイムスリップしたような体験ができます。地下鉄や高速鉄道が整備され、海上からは新幹線で約1時間とアクセスも便利です。最新テクノロジーと千年の歴史が共存する杭州市へ、ぜひお越しください！

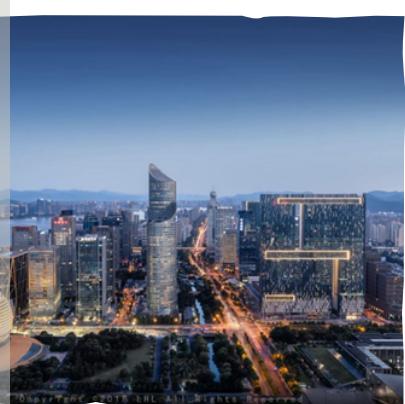
【義烏市】 世界最大の小商品市場を有する国際商業都市です。七万以上の店舗が集まる義烏国際商貿城では、日用雑貨から装飾品まであらゆる商品が驚くほど安価で購入できます。毎年多くの海外商人が訪れる、まさに「世界の市場」と呼べる場所です。



れてい
ます。
運が良
ければ
撮影相
場で有
名な俳
優にも
出会う
るかも
しれま
せん。

横店

「東方ハリウッド」と呼ばれる横店影視城は、アジア最大の映画・テレビ撮影基地です。紫禁城を再現した「明清宮苑」や、古代街並みの「秦王宮」など、広大な敷地に中国各時代の建築が再現さ





吳詩琪さん

皆さん、こんにちは。吳詩琪と申します。浙江工業大学日本語学科の四年生です。現在、国費留学生として宇都宮大学で勉強しています。栃木県は「いちごの王国」として知られているだけでなく、

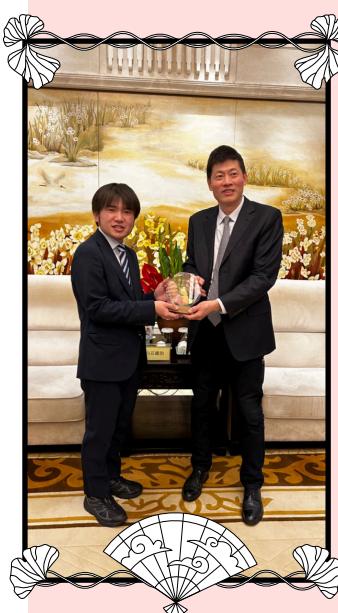
日光東照宮や鬼怒川温泉など、多くの観光スポットがあります。これまで栃木県の風土をさまざまに体験することができ、とてもありがとうございます。中国も豊かな文化を持っており、日本の友人の皆さんのご来訪を心から歓迎いたします。



石川眞矢さん

皆さんこんにちは！石川真矢です。私は宇都宮共和大学時代に中国語を学び、栃木県日中友好協会の訪問団として中国を複数回訪問しました。現地での交流を通じて、言語が人と人をつなぐ力を実感しました。

また歴史や考古学にも興味を持っており、更に文化の知識を深めていきたいと考えています。今後も学業や交流を通じて中国との関わりを持ち続けたいです！



そんな2ヶ月の訪問から約半年後の10月、2度目の中国訪問の機会が訪れました。2度目の訪問では、前回よりも移動距離が長く、中国のさまざまな地域を訪れる行程となり、地域ごとの特色や文化の違いをより深く知ることができました。また、中国の関係者の方々が、私が2月にも訪問していたことを覚えていてくださり、再会を喜んで声をかけてくださったことがとても嬉しく、国を越えた人とのつながりの温かさを感じました。

これらの訪問を通じて、多くの貴重な体験をさせていたた
き、中国という国や人々への理解が深まりました。そして今後も、学業や交流を通して中国と関わり続けていきたいと強く思うようになりました。

また、中国の大学生との交流も大きな思い出の一つです。訪問前は、中国語で相手と会話できるか自信がなく、うまく意思疎通ができなかつたらどうしようという不安がありました。しかし、実際には多くの学生が流暢な日本語で話しかけてくれ、互いの文化や学生生活について意見を交わすことができました。その中で、自分が学んでいる外国語を使って相手とつながることの楽しさや、言語が人と人の距離を縮める力を実感し、外国語学習への意識が一層高まりました。

私は大学3年生の時に中国語を履修し、2月に栃木県日中友好協会の訪問団の一員として、初めて中国を訪問しました。大学で学んでいた中国語を実際の現地で使う機会が得られることに、大きな期待と同時に不安を感じていました。

当初、中国に対する考え方として、日中の政治的関係から日本人は嫌悪されるのではないかという先入観を持っていました。しかし、実際に訪問してみると、どの地域でも温かく、熱烈な歓迎を受け、そのような不安はすぐに払拭されました。特に、杭州人民政府から私の名前が刻まれた盾を頸いたことは、歓迎の気持ちが形として伝わってきて、非常に印象深く、今でも心に残っています。

中国訪問を通じて深まつた縁

(文・石川眞矢)

兵馬俑の歴史深さに魅了されて

陝西省西安市臨潼区には、世界的にも非常に有名な世界遺産である兵馬俑があります。兵馬俑は、秦の始皇帝の陵墓を守るために造られたとされており、同時に、皇帝としての絶対的な権力や統一国家の威信を後世に示す目的もあったと考えられています。整然と並ぶ兵士や馬の像は、一体一体表情や装備が異なっており、当時の高度な技術力や組織力を今に伝えています。

私は学生の頃から、歴史や考古学に強い興味を持っており、特に遺跡や史跡を実際に訪れることで、その土地の歴史を肌で感じることに魅力を感じてきました。教科書や資料で学ぶだけでなく、現地に残された遺構や出土品を見ることで、当時の人々の生活や価値観をより立体的に理解できると考えています。そのような関心から、国内外を問わず、歴史的価値の高い場所に強く惹かれてきました。

その中でも、中国を代表する遺跡の一つである兵馬俑は、歴史や考古学に興味を持つ者にとって、まさに象徴的な存在だと感じています。2000年以上前に造られたにもかかわらず、現在まで良好な状態で残されていることは非常に驚くべきことであり、中国古代文明の奥深さを物語っています。

実際に訪れる機会にはまだ恵まれていませんが、これまで中国を訪問した経験を通じて、中国の歴史や文化への関心はより一層高まりました。いつか必ず西安を訪れ、兵馬俑を自分の目で見て、そのスケールや歴史的意義を感じたいと強く思っています。



●QRコードの普及率

現在の中国は、普段の買い物でQRコードを用いた決済手段が多くなっており、現金の取り扱いが減少傾向にあります。私は渡航前にその情報を知り、Alipayをダウンロードしました。当初は現金も多少なりとも使えると思っていたのですが、本当に現金を使える場所が少なく、普及率の高さに驚きました。さらにレンタル自転車にもQRが用いられており、汎用性の高さを感じました。



● それぞれの都市が見せる違った街の表情

